

看護職員への負担軽減及び処遇改善に資する計画 2025年度

項目		目標	具体的な計画及び取り組み	目標達成年次
病棟勤務体制	業務量調整	・業務量の調整 ・超過勤務時間 前年度比30%削減 ・有給休暇12日以上取得 ・離職率18%	・超過勤務時間を委員会にて各部署へ共有し、業務量の調整により前年度比30%削減を目指す ・有休取得日数を半期で管理し改善が必要な部署・職員に指導 ・入職後定期面接を実施し、早期離職防止、職場環境改善に努める	2025年度末
		各病棟看護補助者 常勤換算数11名配置	・特定技能実習生の採用継続及び常勤職員の積極採用を進め、適正な人員配置を目指す	
	人数配置	看護補助者の適正な 人員配置・増員	・看護補助者を1フロアに1名増員し、個々にかかる負担軽減を図る	
業務軽減	ケアの質向上	エビデンスに基づいたケアの実施	下剤投与量の調整、経管栄養2回投与による日中業務削減、患者にあった経管栄養剤の選択(トラブル防止)	2025年度末
		エアマットレスの適正な使用	エアーマットレス使用方法の研修を実施し、患者にあった使用にすることで、褥瘡発生率を低下させ、褥瘡ケア時間を短縮する	
		オムツ交換回数の調整	夜間帯のオムツ交換回数を減らすことにより、患者の安眠を促すとともに、夜勤職員の業務軽減を図る	
		スキントラブルを起こさず、褥瘡発生率を低下させる	陰部ケア用石鹸を変更し、スキントラブルを減少、褥瘡発生率を低下させ、ケア時間の短縮を行う	
業務分担	薬剤科		・安全で業務改善になる薬剤情報の提供と採用 ・服薬回数の調整及び助言	2025年度末
	リハビリテーション科		・ポジショニングシートを作成し、一目で患者にあったポジショニング可能になるよう支援。定期的な研修の実施 ・週1回の体重測定援助	
	栄養科		・患者のお膳にお茶を乗せて、病棟に配膳車移動	
	検査科		・検体の回収 ・病棟管理の検体スピッツを在庫確認し、補充する	
	放射線科		・レントゲン撮影時病棟レントゲン室間の搬送介助	
	クラーク		・感染週報への病室名記入 ・事務所引き出し書類と荷物の病棟への搬送	
	事務部		・消耗品の病棟への搬送 ・医局のリネン類の管理	